

その力は全国区

3月29日、石川県金沢市で開かれた全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会。男子105kg級に出場した水上貴史くん(久慈工業高3年・長内中出身)に最終試技の順番が回ってきました。最後に選んだのは今まで挑んだことすらな

い141kg。「失敗は考えなかつた。絶対に上げるという気持ちを持って集中した」。メダルが懸かった大一番で、未知の重量を持ち上げ自己ベストを更新。見事、準優勝に輝きました。「メダルを目標にしてきたので本当にうれしかった。分厚い胸板に太い腕。全国2位を勝ち取った「猛者」は最高の笑顔で喜びをかみしめました。

水上くんがウエイトリフティングを始めたのは高校から。長内中学校では柔道部に所属していました。「高校では新しいことに挑戦したかった。自分の体重以上の重さを持ち上げる強さとかっこ良さにあこがれてウエイトリフティングに挑戦することを決めました。柔道でも個人戦で県大会3位になるなど力には自信があ

った水上くん。しかしイメージと実際にやるのでは大違い。今は得意とするジャークも最初の記録では70kg程しか持ち上げられませんでした。「もう少しできるかと思った。でも先生や先輩が教え、友達が支えてくれたおかげで徐々に記録が上がっていった」。一年後には記録も110kg程にアップ。成長を実感できるウエイトリフティングの楽しさに、どんどのめりこんでいきました。

全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会男子105kg級準優勝
久慈工業高3年(長内中出身)

水上貴史

夏は掴むぞ頂点を

「バッティングだけは誰にも負けない。いつも絶対に打てると思って打席に立っている」。勝負強いバッティングが売りの中平蓮くん(2年・長内中出身)は花巻東高校の野球部員。甲子園で旋風を巻き起こし、準優勝を果たした全国選抜高校野球大会(3月21日-4月2日)にも、18人のメンバーの一人として参加しました。

てチームの勝利に貢献してきた中平くん。「学校が選抜大会に出場するのは初めて。出場が決まったときは本当にうれしかった」。しかしケガもあり選抜大会では打席に立つ機会はない。初めての甲子園は、ベンチで試合終了のサイレンを聞きました。「できれば打席に立ちたかった。準優勝はしたが悔しい」と、ぐつと唇をかみ締めます。

目標は日本一。でも県大会を勝ち上がるのは簡単ではない。県の代表を目指して全力で頑張りたい」と闘志を燃やします。春の悔しさと、みなぎる闘志をバットに込めて。自信の「武器」を磨き上げ、暑い夏に備えます。

次は夏。県内のみならず全国の注目が集まる夏の大会に向けて中平くんは「最終的な

全国選抜高校野球大会準優勝
花巻東高2年(長内中出身)

中平蓮



水泳が好き。タイムが上がると自分の成長が実感できてうれしいです。冬のスポーツの講習も楽しみ。水泳の県大会で優勝したいです。

ひなこ 高橋日菜子さん(久慈湊小6年)

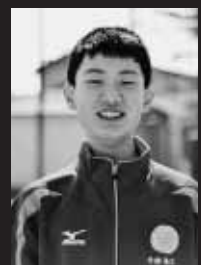


水泳と走る事が大好きです。普段できないことでキッズの講習は楽しみ。大人になってもスポーツをやりたいです。

なつき 柴田菜摘さん(久慈湊小6年)

わたしたちも頑張ります！ いわて スーパーキッズ

トップアスリートの発掘・育成を目指すスーパーキッズ2期生に選ばれた5人。今後、さまざまな講習に挑戦します！



水泳と剣道をやっています。講習でいろんなスポーツを体験するのが楽しみ。県大会で優勝して剣道の全国大会に出場したいです。

ひろふみ 外館浩文くん(久慈湊小6年)



走ることが好き。相手がいると燃えます。講習では楽しみながらいろんな体験をしたいです。将来は陸上の日本代表選手になりたいです。

しょうご 中塚省吾くん(久慈湊小6年)



運動が好きで水泳、野球、スキーをやっています。体育の時間はワクワク、講習も楽しみ。オリンピックなど大きな大会に出場したいです。

ゆうき 長坂優貴くん(山形小6年)